

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策のため、市主催のイベントなどは中止・延期となる場合があります。詳しくは、担当課に直接お問い合わせいただくか、市ホームページでご確認ください。

## ワークショップ「自分だけの浮世絵をつくろう ～江戸のファッションを作るのは君だ!～」



佛教大学の皆さんと作る子ども向けワークショップ。「浮世絵」は江戸時代のおしゃれの手本だった!? 色や柄を自由にデザインして、作品の中の人物にオリジナルの着物を着せてみよう。

🕒 11月12日(土) 10:00～11:30

📍 草津まちづくりセンター(草津一) 対 小学生 定 20人(先着順)

💰 100円(保護者は入館料別途要) 申 11月3日(木祝)～11日(金)

📞 申・問 草津宿街道交流館(草津三) ☎567-0030、FAX567-0031



▲歌川国芳「近江国萩の玉川」(部分) 草津市蔵



## 歴史ギャラリー

見ても読んでも楽しい『東海道中栗毛弥次馬』

No.180

江戸時代の草津を描いた浮世絵には、矢倉立場にあった草津名物・姥ヶ餅(おばがもち)を売り出していた「うばがもちや」を描いたものが多くあります。今回は、それらの中でも弥次(弥二)さん北(喜多)さんが登場する『東海道中栗毛弥次馬』について紹介します。

『東海道中栗毛弥次馬』は、江戸時代後期にベストセラーとなった十返舎一九の『東海道中膝栗毛』を、戯作家・仮名書魯文(かにながろぶん)が東海道五十三次の宿場に伝わる風俗や伝説をもとにエピソードを加えて脚色し、浮世絵師・歌川芳幾(うたがわよしいく)が絵を添えています。万延元(1860)年出版されたこの作品は、絵が二丁ずつ一枚に摺られ30枚あり、草津は天津と併せて1組になっています。

このシリーズでは、弥次さん北さんによる滑稽な会話と狂歌が主に平仮名で記され、仕草や表情の豊かな登場人物たちが面白おかしく描かれています。草津の内容は、うばがもちやの店先で弥次さんが姥ヶ餅を慌てて食べたために喉に詰まらせ、せつかくの餅を吐き出しています。5つ食べたという弥次さんでしたが、口から吐き出したのは全部で7つ。背中を叩く北さんと店のお婆さんは、サバを読んだ横着なことをする弥次さんにあきれ返っています。左下には



▲歌川芳幾画「東海道中栗毛弥次馬 草津・大津(部分)」(草津市蔵・中神コレクション)

「すきはら(腹)にあは(わ)ててのど(喉)へからみもち(餅)はら(腹)のた(足)しにはならぬくる(苦し)さ」とこの場面にあった絶妙な狂歌とともに、この様子を笑う犬が可愛らしく描かれ、現在の私たちも楽しめる作品となっています。

さて史跡草津宿本陣では、本陣四季彩々秋の段の企画展「のぞいてみよう!くずし字の世界」変体仮名ってなんだ?」を11月20日(日)まで開催しています。本展は、今回紹介したような浮世絵に記された「平仮名」について特集しています。私たちは、楷書で文字を書くため、くずし字にあまりなじみがありませんが、現在では使われなくなった字体の平仮名や、今もひそかに街中で見かける平仮名のくずし字も展示パネルで紹介しています。ぜひご覧ください。

📍 問 草津宿街道交流館(草津三) ☎567-0030、FAX567-0031

### Kusatsu Information

いつでもどこでも「広報くさつ」



市ホームページ



ラジオえふえむ草津 (FM78.5MHz) 「声の広報」

スマートフォン用アプリ



●マチイロ  
●SideBooks (ちいき本棚)

草津市メール配信サービス

市の情報をメールで配信するサービス



市公式ソーシャルメディア



くさつチャンネル

さまざまな動画や、びわ湖放送(BBC)で放送されている草津スケッチもこちらから配信!



市の花 アオバノ



市の木 キンモクセイ

9月30日現在(対前月比)

●人口138,139人(+40)

●男69,292人(+13)

●世帯数62,473世帯(+56)

●女68,847人(+27)